

令和元年度生涯学習審議会意見について

委員からの意見	対応
<p>【会長：塘委員】 3 生涯学習における学習活動の評価と活用機会の確保の部分で学習成果の発表でとどまることなく、その先の活用の部分について調査するなど、県としての対応をしていただきたい。</p>	<p>○今年度は、ニューズレター取材及び情報発信において、学んだことの活用を実践している団体等をクローズアップして取り上げ、情報発信に取り組んできた。実際の取り組みを今後も取り上げていきたい。 【参考資料4】</p>
<p>【いわき市立美術館：佐々木委員】 講座の内容を受講生自ら考え、参画できるような、自ら学ぶ態度を養う内容で構成されている講座を企画し、その参加人数を指標とすることで、今後の生涯学習推進に向けた議論が深まることが考えられる。</p>	<p>○来年度、指標を検討する際の参考とさせていただきたい。実際に全てではないが、受講生自らが企画にかかわる講座も伺っており、その講座の効果により、公民館等で活動する団体に発展している例もある。</p>
<p>【会長：塘委員】 生涯学習基本計画改定の進め方について、県の次期総合計画との整合性に留意し、生涯学習審議会やパブリックコメント等、県民の意見を反映させていくとなっている。現時点で、どのように反映させていくのかを具体的に説明いただきたい。</p>	<p>○新型コロナウイルス感染の影響により、計画策定が延期になり、県の次期総合計画の素案を議論しているところである。この県の次期総合計画との整合性に留意していきたい。また、昨年度県民の生涯学習意識調査を実施し、約1,000人弱の県民からの意見をいただいた。現在は、速報値のみであるが、今後詳しい分析結果を反映させ、来年度の審議会での協議に生かしていきたい。 【資料5】</p>
<p>【会長：塘委員】 伝承館で学んだ様々なことが、その先の学びに生かされていくプログラムの開発も必要だと考える。コミュニティと連携、協力することで、より深い学びに発展するプログラムの開発につなげることも考えられるので、検討いただきたい。</p>	<p>○伝承館における研究事業や展示事業、研修事業の充実を図るため、研究集会の開催、県内外からの来館促進、震災学習や研修活動等について、環境創造センターとの連携を検討していく。</p>